

～川崎・富川友好都市提携20周年記念事業～

2016「川崎市民交流団」 プチョン @富川市(韓国)



川崎市と韓国・富川市

それまでの大学、商店街、市民等の相互訪問による活発な交流を受け、平成8(1996)年に両市が友好都市提携を行いました。平成10(1998)年から職員の相互派遣を行っています。20周年の今年も、両市市長の相互訪問に加え、市内音楽大学オーケストラによる演奏会が富川市で開催されたほか、少年サッカーチーム親善試合が行われるなど、市民による文化、芸術、スポーツ交流も引き続き盛んに行われています。



ルポ! 「写真交換会」 9月10日(土)

ここ数年、市民交流団は帰国後「写真交換会」として集まるのが恒例となっています。今回は、赤塚栄次団長が行程中に撮影された動画を見ながら盛り上がり、市民交流団の皆さんの和気あいあいとした雰囲気がよく伝わってきました。5日間「同じものを同じ鍋でいただいて家族のような仲になった」とのこと。今回は、「市民交流団」初参加の方がほとんどだったようですが、単なる旅行ではない意義深く、多岐にわたる旅行に「やみつきになりそう」との声も聞かれました。赤塚団長の「真の交流にはみんなの協力が必要」というまとめの挨拶が心に残りました。



参加メンバーから(インタビュー・アンケートより)

- ・富川大学の学生も市の方でも、みな友好的で日本文化にも興味を持っていて、交流時間がとても楽しかった。
- ・言葉が通じなくてもどかしくもあったが、富川市の方のおもてなしの気持ちがありがたかった。
- ・国際交流が目的ということで、身の引き締まる思いで参加した。楽しく、一般の観光旅行では体験できないことが体験でき、参加できてよかったと思う。
- ・実際に(市民交流団に)参加し、国を訪れ、街を見て、人とふれ合ってみないとわからないことがあること、私市民一人ひとりの交流の中から理解が広がることがとても大切なのだなと思いました。
- ・陶器などに関しても日本は隣国の影響を受けていることがわかった。日本と韓国の違いや文化のルーツなど学ぶことが多かった。

今年は富川市からも、たくさんの方が川崎市を訪問しています。

- 2月 キム マンス 金晩洙富川市長が訪問・視察
- 6月 日本・韓国 文化音楽交流(親善事業) 特別演奏会開催 韓国のゲスト演奏者と共演
- 8月 少年サッカーチームが川崎で親善試合・交流(写真左)
- 10月 川崎・富川20周年記念美術展のために、美術家が訪問
- 11月 富川市役所が訪問・視察(写真右)



富川市の方は「川崎市の良いところ」をいつも「素晴らしいね」と称賛してくださるので、とてもうれしくなり、そのたびに私も同じようにしたいと感じます。「市民交流団」は、身近な国際交流を知るまたとない機会ではないでしょうか?

(取材・文:編集ボランティア 青柳尚子)

「川崎市民交流団」ってなに?

「川崎市民交流団」は、川崎市の姉妹・友好都市※との市民レベルの交流を目的として各都市へ行く訪問団です(参加費はすべて個人負担)。出発前には、川崎市長より「K.I.F.A.(かわさき国際友好使節)」として認定され、それぞれの都市の市長表敬や市民交流を通じて川崎市をPRし、市のイメージアップを図っています。

互いの市民同士が直接会って交流することで、「姉妹・友好都市」という絆が強まるだけでなく、相互の文化理解はもちろん、個人レベルでの特別なつながりができます。市内でも、市民交流団の団員ひとりひとりから、市民レベルの国際理解や世界平和の意識が広がっています。

- ※ 川崎市の姉妹・友好都市
- ・クロアチア・リエカ市(1977年～)
 - ・アメリカ・ボルティモア市(1979年～)
 - ・中国・瀋陽市(1981年～)
 - ・オーストラリア・ウーロンゴン市(1988年～)
 - ・イギリス・シェフィールド市(1990年～)
 - ・オーストリア・ザルツブルク市(1992年～)
 - ・ドイツ・リュベック市(1992年～)
 - ・韓国・富川市(1996年～)
 - ・ベトナム・ダナン港(1994年～)

2017年は…川崎市・リエカ市(クロアチア)姉妹都市提携40周年!

リエカ市は、アドリア海に面するクロアチア最大の港町。古くから周辺地域の重要な物流拠点であり、現在では国際航路への発着地や保養地として発展。教育や文化の中心でもあり、大学や科学研究所など多くの文化施設があります。ちなみに「リエカ(Rijeka)」とはクロアチア語で「川」という意味で、町の中心付近を川が流れています。

